



昭和の記憶。

PIGEON POST
ビジョンポスト #14

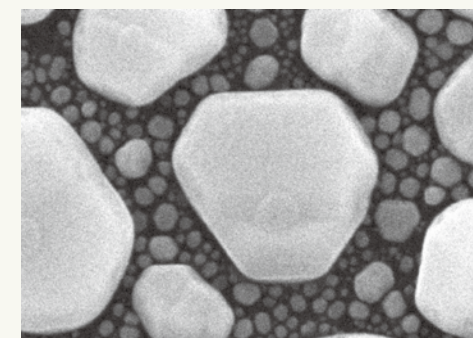
MIYAMA information



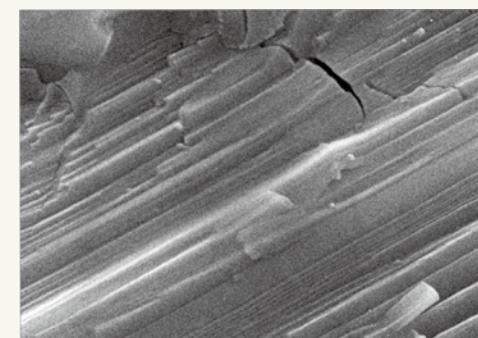
2013 March - April

ミクロ探偵団

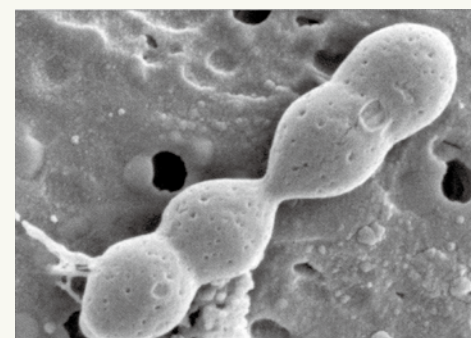
ミヤマの検査分析の現場で使われている走査電子顕微鏡が解き明かす世界をデジタル画像でお届けします。



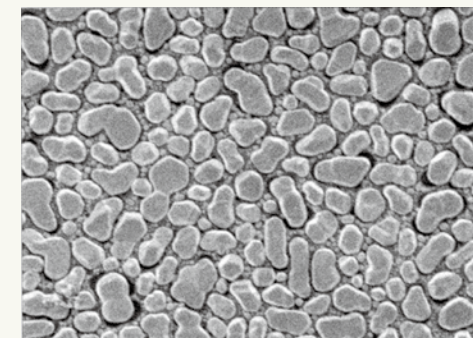
試料：金蒸着端子 倍率 ×100,000 1μm



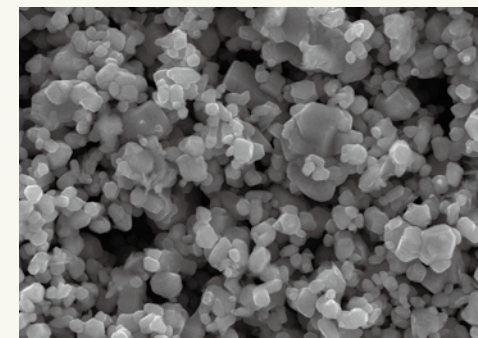
試料：セラミックス 倍率 ×30,000 0.5μm



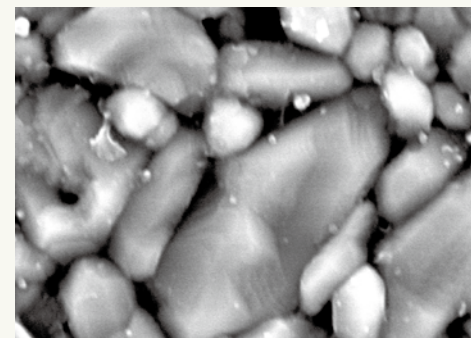
試料：乳酸菌 倍率 ×25,000 1μm



試料：金蒸着端子 倍率 ×10,000 1μm



試料：酸化亜鉛 倍率 ×10,000 1μm



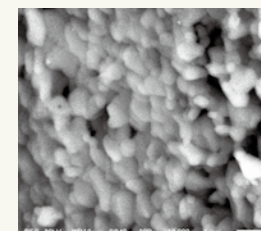
試料：セラミックス 倍率 ×10,000 1μm

デジタル画像診断サービス

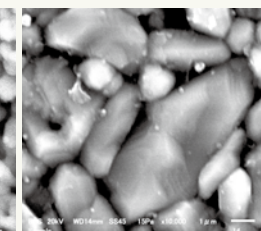
【セラミックス試料の観察例】

走査電子顕微鏡により2種類のセラミックス試料を1万倍で観察すると、直径0.5μm程の均一な丸い粒の並びや、数μm～20μmの粒が不均一に並び様子を目視で確認できます。さらに、元素分布や組成分析などの分析により、製品不良の原因究明などにご利用いただけます。

■拡大画像で確認（倍率 ×10,000）

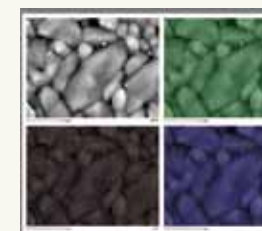


粒径は約0.5μm



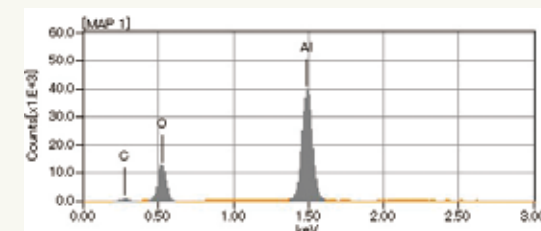
粒径は1μm～20μm

■元素分布



含まれる元素を色分け表示

■成分分析



元素の成分を測定

ミヤマでは、走査電子顕微鏡による「デジタル画像診断サービス」を行なっています。

製品不良の原因究明 異物発見、異物の成分分析 アスベスト分析

などにご利用いただけます。お気軽にミヤマ営業マンまでお問い合わせください。

ECTM
ECOTECH
MIYAMA

総合環境企業

ミヤマ株式会社

本社／〒381-2283 長野県長野市丹波島一丁目1番12号 TEL.026-285-4166 (代) FAX.026-283-0011

■リサイクルセンター／長野・松本・東京・燕・秋田・名古屋・大阪 ■工場／長野・中野・上越・分水・燕・大町
■技術開発センター ■EM開発センター ■装置機材センター ■保全機材センター
■名古屋プラントサービスセンター ■新潟プラントサービスセンター ■関西プラントサービスセンター
■営業所／盛岡・秋田・仙台・郡山・宇都宮・水戸・新潟・長岡・燕・上越・中野・長野・上田・松本・諏訪
甲府・前橋・埼玉・東京・千葉・横浜・静岡・富山・名古屋・京都・大阪

詳しくは当社ホームページへ <http://www.miyama.net/>

PIGEON POST #14

発行日：平成25年3月1日 発行人：南 克明 企画：ミヤマ株式会社 広報室 制作：合同会社 ch.



手つかずのブナ林が残る里山に
開まれ、悠々と千曲川が流れる新潟
県境の小都市・飯山市。冬には市街
地でも身の丈を超える雪が積もり、
雪国ならではの建築である雁木や、
家内制手工業の飯山仏壇といった
独特の文化や伝統工芸が育まれて
きました。高橋まゆみ人形館は、こ
れらの家々が軒を連ねる、通称「雁
木通り」「仏壇通り」沿いにあり、昔
ながらの風景とともに楽しめるの
も魅力となっています。

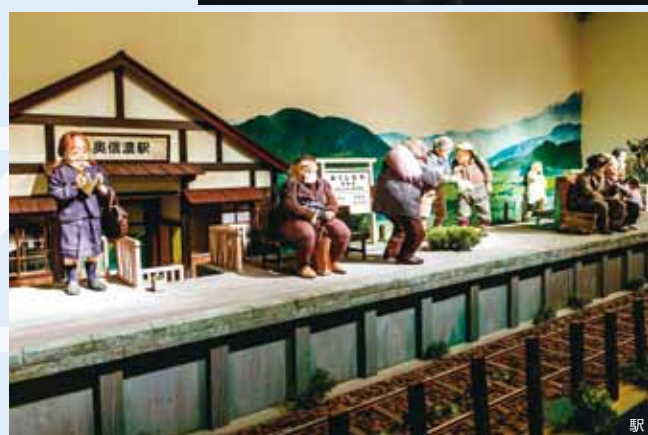
また、豊富な雪解け水は田畑を
潤し、変化に富んだ四季折々の風
景を見せてくれます。特に、春にな
ると800万本もの菜の花が咲き、
唱歌「おぼろ月夜」の舞台と言われ
る「菜の花公園」は有名で、高橋さ
んも飯山のもっとも好きな風景と
して、この場所を挙げています。「菜
の花畑の眼下に流れるうねった千
曲川とそこに架かる赤い橋、広がる
山並み、ポツポツと点在する民家、
その全てが飯山は良いところだと
発しているような気がします」と話
す高橋さん。完成した人形を持つ
て、この公園で撮影することも多い
のだとか。高橋さんの作品は、飯山
の風景に心地よくなじみます。



「人形を身近に感じ、話しかけて欲しい」という高橋さんの思い
を反映し、基本的にはガラスケースに入れられずに展示されて
いる人形たち。粘土の上に布を張ることで、より存在感と温かみ
が感じられる作品となっています。衣装も、この地の人々が長い
間大切に着てきた思いの詰まった古布を使っています。



夕日



駅



菜の花



高橋まゆみ人形館



初めて見るのに、どこか懐かしい。見る人をそんな気持ち
にさせる高橋まゆみさんの作品が並ぶ人形館。3月下旬
までは秋冬バージョンの作品を展示していますが、4月か
らの春夏バージョンでは、およそ30年間にあふぶ高橋さ
んの作家活動のなかで現在の作風になった17～18年前
からの作品を展示する回想展を展開予定です。ファンや
人形館のスタッフも見たことがないという初期作品が間
近に見られる貴重な機会となります。また、毎月15日の
午前10時から12時は、高橋さんが在廊しており、実際
にお話をうかがえるチャンスでもあります。高橋さんの気さ
くな人柄にも触れてみてください。

長野県飯山市大字飯山2941-1
☎0269-67-0139 開館時間：9～17時（12～3月は10～16時）
水曜休館（祝祭日の場合は翌日） 一般600円、小中学生400円



自転車



駅



家族の四季



高橋まゆみさん

長野県長野市出身。飯山市在住の創作人形作家。通
信教育で人形作りの基礎を学び、試行錯誤を重ねる現
在の創作人形にたどり着く。1998年エザワや創作大
賞部門での大賞受賞をはじめ、新世紀人形展、日本工
芸美術展等で各賞受賞。2003年から7年間に及ぶ
全国巡回展「故郷からのおくりもの」を開催して好評
を博し、2010年4月に高橋まゆみ人形館を開館。

「よく来たなあ」「まあ、ゆっくり
していけや」
そんな声が聞こえてきそうなほ
ど、表情豊かな人形たち。ここは、
長野県最北部に位置する飯山市街
地の一角にあり、日本全国に多くの
ファンを持つ地元在住の人形作家・
高橋まゆみさんの人形館です。決
して大きな施設ではありませんが、
2010年の開館以来、全国から
幅広い世代の人々が訪れ、現在まで
の来館者は45万人を超えています。
どこか懐かしさを感じさせる人
形たちの表情や仕草。「作品を見て
涙したり、笑い、話しかける人も少
なくないです」と高橋さんが話
す通り、何気ない日常をそのまま
切り取ったような素朴な人形たち
は、どれも優しさや温もりに溢れ、
心象風景とリンクして、思わず語
りかけたくなります。題材となっ
ているのは、自然豊かな飯山にい
まなお残る人々の暮らし。畑仕事
の合間におしゃべりに興じるおば
あちゃんたち、孫と遊ぶおじいちゃん、
家族団らんの食卓風景……。都
会では少なくなってしまうこれ
らの風景も、飯山にはありふれた
日々の風景なのです。

そんな飯山を高橋さんは「宝の
宝庫」と表現します。1年のうちお
よそ3分の1の期間が雪に覆われ
る日本有数の豪雪地帯。しかしな
がら四季がはっきりしており、大
地の恵みも豊かです。春になれば
一面に菜の花が咲き誇り、夏には
人々が額に汗して農業に従事し、
秋になれば豊作を祝う。かつては
当たり前だったこれらの営みがそ
のまま生き生きと受け継がれてい
る事実が、高橋さんの創作への原
動力となっています。

「飯山に暮らす私たちの周りには、
消えてなくなりそうだけど忘れ
てはいけない大事なものがたく
さんあります。それを人形という
姿で残し続けるのが私の使命だと思
っています」と話す高橋さん。全
国から多くの人が訪れる人気の秘
密は便利さや快適さを追求する現
代社会の中で、つい置きざりになっ
てしまった大切な何かがそこにあ
るからかもしれません。

冬の間、背丈を超える程に降り
積もった雪も、3月に入ると少し
ずつ溶け始め、春の足音が近づい
てきます。あたり一面を黄色に染
める菜の花畑など、見所も多い春
の飯山。心の原風景に会いに来て
ませんか。

畑を耕すじいちゃんの背中、
シワシワのばあちゃん的笑顔
「あの頃」の大切な思い出



PIGEON POST

ミヤマから「信州のキラメキ」をお届けします ビジョンポスト #14

人形に込めた日本の原風景

菜の花公園（飯山市）